

参考文献

- 1) 東京都環境保全局：緑被率標準調査マニュアル、p35、1988
- 2) 岐阜大学秋山研究室ホームページ：“DN から放射輝度(Radiance)を求める方法 (Landsat-5 TM)”、
http://www.geocities.jp/kensuke_kawamura/Others/LandsatCalibration/DNtoRad_L5.html (accessed 18 Jan. 2006)
- 3) Holben, B., and Justice, C. : An examination of spectral band ratioing to reduce the topographic effect on remotely sensed data, *International Journal of Remote Sensing*, Vol.2, pp.115-133, 1981
- 4) 妹尾俊夫、岩浪英二、田中聡太郎、杉村俊郎：比演算を施した 2 季節のランドサット MSS データによる広域山地の林相区分、*日本リモートセンシング学会誌*、Vol.3、pp.55-65、1983
- 5) Colby, J.D. : Topographic normalization in rugged terrain, *Photogrammetric Engineering and Remote Sensing*, Vol.57, pp.531-537, 1991
- 6) Smith, J.A., Lin, T.L., and Ranson, K.J. : The Lambertian assumption and Landsat data, *Photogrammetric Engineering and Remote Sensing*, Vol.46, pp.1183-1189, 1980
- 7) Meyer, P., Itten, K.I., Kellenberger, T., Sandmeier, S., and Sandmeier, R. : Radiometric corrections of topographically induced effects on Landsat TM data in an alpine environment, *ISPRS Journal of Photogrammetry and Remote Sensing*, Vol.48, pp.17-28, 1993
- 8) 渡辺誠、川田剛之：大気・地形効果を考慮した TM 画像データに基づく白山地域植生の反射スペクトル特性について、*日本リモートセンシング学会第 25 回学術講演会論文集*、pp.269-270、1998
- 9) 村上拓彦、齋藤元也：森林タイプ別にみた Minnaert 定数の季節変動、*日本リモートセンシング学会第 30 回学術講演会論文集*、pp.125-126、2000
- 10) 角田里美、三谷琢司、中澤明寛、栗屋善雄：Minnaert 法を用いた地形効果補正の検討、*日本写真測量学会年次学術講演会論文集*、pp.185-186、2005
- 11) 村上拓彦：SPOT/HRV データから森林タイプ別に求めた Minnaert 定数、*写真測量とリモートセンシング*、Vol.41、No.1、pp.47-55、2002
- 12) 日本リモートセンシング研究会 編：改訂版 図解リモートセンシング、(社) 日本測量協会、p325、2001
- 13) (財) 資源・環境観測解析センター 編：資源・環境リモートセンシング実用シリーズ ③ ー地球観測データからの情報抽出ー、(財) 資源・環境観測解析センター、p306、2003

- 14) Rouse, J.W., Haas, R.H., Schell, J.A., Deering, D.W., and Harlan, J.C. : Monitoring vegetation systems in the great plains with ERTS, in Third Earth Resources Technology Satellite-I Symposium, NASA SP-351, Vol.1, pp.309-317, 1973
- 15) 尹敦奎、梅干野晃：都市域における画素内緑被率推定のための指標、日本リモートセンシング学会誌、Vol.18、No.3、pp.4-16、1998
- 16) Richardson, A.J. and Everitt, J.H. : Using spectral vegetation indices to estimate rangeland productivity, Geocarto International, Vol.1, pp.63-69, 1992
- 17) Jordan, C.F. : Derivation of leaf area index from quality of light on the forest floor, Ecology, Vol.50, pp.663-666, 1969
- 18) 斉籾郁雄、石原修：ランドサット TM データによる緑被変化の抽出に関する研究、日本リモートセンシング学会 第 22 回学術講演会論文集、pp.117-118、1997
- 19) 桑原祐史、小柳武和、志摩邦雄：茨城県日立市周辺を対象とした植生経年変化の解析－LANDSAT データを用いて－、環境情報科学論文集、Vol.16、pp.187-192、2002
- 20) 藤原宣夫、山岸裕：都市緑地調査における人工衛星技術の活用に関する調査、国土技術政策総合研究所資料 第 68 号、2003
- 21) 村上拓彦、斎藤元也、小川進、石塚直樹：VSW 指数を応用した水稲作付面積推定、日本リモートセンシング学会誌、Vol.21、No.4、pp.330-341、2001
- 22) 中園悦子、沢田治雄：パターン展開法による熱帯林の常緑樹混交率の推定、日本写真測量学会 平成 11 年度年次学術講演会発表論文集、pp.59-60、1999
- 23) (財) 資源・環境観測解析センター 編：資源・環境リモートセンシング実用シリーズ ②－地球観測データの処理－、(財) 資源・環境観測解析センター、p252、2002
- 24) 小野朗子、藤原昇、小野厚夫：スペクトル値の規格化による地形と大気効果の抑制、日本リモートセンシング学会第 30 回学術講演会論文集、pp.13-14、2001
- 25) 小野朗子、小野厚夫：LANDSAT/TM データを用いたバンド和によるスペクトルの正規化、日本リモートセンシング学会第 33 回学術講演会論文集、pp.35-36、2002
- 26) 小野朗子、梶原康司、本多嘉明：バンド和によるスペクトルの正規化法とその応用、日本写真測量学会年次学術講演会論文集、pp.73-74、2003
- 27) 小野朗子、梶原康司、本多嘉明：バンド和で正規化したスペクトルを用いた植生解析、日本写真測量学会年次学術講演会論文集、pp.209-210、2004
- 28) 澤田誠一：相加平均・回帰式を用いた植生分類について、日本写真測量学会年次学術講演会論文集、pp.219-220、2004
- 29) (財) 資源・環境観測解析センター 編：資源・環境リモートセンシング実用シリーズ ①－宇宙からの地球観測－、(財) 資源・環境観測解析センター、p275、2001
- 30) (財) 資源・環境観測解析センター (ERSDAC) ホームページ：「ASTER プロダクツとは」
http://www.gds.aster.ersdac.or.jp/gds_www2002/exhibition_j/a_products_j/set_a_pro

du_j.html

(accessed 23 Feb. 2007)

- 31) 船橋学、瀬戸島政博、岡崎亮太、今井靖晃、山本和広：ASTER データを用いた都市内樹林の樹高把握に関する検討、日本リモートセンシング学会第 35 回学術講演会論文集、pp.199-200、2003
- 32) 鎌形哲稔、原慶太郎、森大、赤松幸生、李雲慶、星野義延：高分解能衛星データのオブジェクト指向分類による植生図作成手法の提案、写真測量とリモートセンシング、Vol.45、No.1、pp.43-49、2006
- 33) 宇宙航空研究開発機構 地球観測利用推進センター：ALOS 処理プロダクトフォーマット説明書 (AVNIR-2 編) G 改訂版、2005 年 8 月